

若草中学校 自己評価書・学校関係者評価書（後期）

平成26年 1月27日

南アルプス市立若草中学校校長 早川 英樹
学校関係者評価委員会委員長 五味 俊弘

1 本年度の教育目標

- ① 学校教育目標 よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
② 具体的目標 ○よく学び、工夫する生徒 (知育)
○心豊かで、助け合う生徒 (徳育)
○健康で、たくましい生徒 (体育)
○意欲を持ち、やりぬく生徒 (意欲)
③ 本年度の重点 ○教育課程の充実
○教科指導の充実 ○道德教育の充実 ○生徒指導の充実
○福祉教育・ボランティア活動の推進
○家庭や地域と連携した開かれた学校づくり
○部活動の活性化と学校教育への適切な位置付け

2 評価実施日

- ① 自己評価 評価実施日(平成 25年 12月 1日) 評価書作成日(平成25年 12月20日)
② 学校関係者評価 評価実施日(平成 26年 1月24日) 評価書作成日(平成26年 1月24日)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

評価点：「思う…3点 やや思う…2点 あまり思わない…1点 思わない…0点」の平均点

評価：A…評価点2.4以上 B…評価点2以上2.4未満 C…評価点1.5以上2未満 D…評価点1.5未満

Table with 7 columns: 項目, 観点, 具体的な評価内容, 今年度評価点, 評価, 前期評価点, 自己評価 (達成状況・改善策), 学校関係者評価 (意見・支援). Rows are categorized by Ⅰ教育目標について, Ⅱ校務分掌について, Ⅲ学習指導について, Ⅳ生徒指導・道德指導について, Ⅴ特別活動について, Ⅵ家庭・地域との連携について.

○学校関係者評価者

五味俊弘(区長会長), 今福正信(かたせ), 飯寄真由美(学校評議員), 佐藤友江(学校評議員), 斉藤 恵(PTA副会長), 早川英樹(学校長), 村松博己(教頭)

○後期の教職員自己評価は全体的に数値が下がっている。特に2学期は、「学力の向上」・「校内分掌の充実」・「生徒及び保護者に対する教職員の取組が理解される三者の歩み寄り」の三点を重点目標として取り組んできたが、成果が実感できずたいへん残念に思う。学習面では、基礎基本の取組は定着しているが、発展的な学習を深める点については課題が多い。個々の進度に沿ったプリント学習及びつづき等を分析し、個に合った家庭学習の定着を図っていききたい。家庭との連携については、以前より密接になったものの、共に育てるといった連携までには一層の歩み寄りが要求される。また、学年・学級等の人間関係の充実や集団としての向上については、点検活動ばかりで終わらず、啓発活動等の継続が望まれる。望ましい学級経営及び学年のあり方を再確認し、それぞれにおいて、事例研究や指導法の情報交換はもちろんのこと、本校の実態に即した生徒理解力及び生徒指導力の向上も探求していききたい。併せて、道德教育及びキャリア教育も含め学校教育全体で個々の伸長を図っていききたい。特別支援教育関係では、こだわりからくる生徒指導上の問題もあったが、交流学級の生徒の証言によって納得に至るなど、交流学級での居場所づくりも育ちつつある。引き続き「個に合った指導」のため、コーディネーターを中心に「家庭の願い」「本人の願い」「学校の願い」をもとに人間関係の充実及び学習内容に柔軟性を持たせた授業の展開を図っていききたい。不登校及び問題を抱える生徒の指導については、学級担任を中心に関係機関との連携を図りながら、家庭とともに取り組む姿勢、各学年の方向性に沿った粘り強い継続指導を実施していききたい。